

おサイフの健全性を保つための取り組み



札幌市のまちづくりの方針である

「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023」での取り組みを紹介。

公共施設や道路などの都市基盤の再整備や子ども・子育て支援など必要とするものには積極的に投資をしていく一方、将来世代に過度な負担を残さない健全な財政運営を進めています。



1 メリハリの効いたおサイフに

より便利で暮らしやすいまちづくりや子ども・子育て支援など、必要なことには積極的にお金を使います。

5年分のお金の集め方、使い方の計画である中期財政フレームに基づいて、おサイフのやりくりを考えています

3~4ページの令和6年度予算のポイントをもう一度見てみよう!

私たちにもできることを考えて、実行していかなくちゃ。

中期財政フレーム(一般会計) ※令和6年度予算反映

	令和5年度	6	7	8	9	期間合計	
歳入	一般財源	5,804億円	5,931億円	5,915億円	5,964億円	6,009億円	2兆9,624億円
	国・道支出金	3,917億円	3,445億円	3,750億円	3,755億円	3,837億円	1兆8,704億円
	市債	701億円	964億円	951億円	937億円	901億円	4,454億円
	その他	1,953億円	1,829億円	1,504億円	1,458億円	1,381億円	8,127億円
	基金活用額	93億円	247億円	333億円	338億円	348億円	1,359億円
合計	1兆2,469億円	1兆2,417億円	1兆2,452億円	1兆2,452億円	1兆2,476億円	6兆2,268億円	
歳出	義務的経費	6,049億円	6,367億円	6,454億円	6,646億円	6,779億円	3兆2,294億円
	職員費	1,533億円	1,617億円	1,567億円	1,595億円	1,574億円	7,887億円
	公債費	918億円	926億円	937億円	982億円	1,014億円	4,777億円
	扶助費	3,598億円	3,823億円	3,950億円	4,069億円	4,191億円	1兆9,630億円
	他会計繰出金	1,100億円	1,155億円	1,144億円	1,152億円	1,166億円	5,716億円
	建設事業費	1,359億円	1,492億円	1,761億円	1,689億円	1,627億円	7,928億円
	其他事業費	3,961億円	3,404億円	3,094億円	2,966億円	2,905億円	1兆6,329億円
	合計	1兆2,469億円	1兆2,417億円	1兆2,452億円	1兆2,452億円	1兆2,476億円	6兆2,268億円

2 持続可能なおサイフへ

市民が安心して暮らせる、必要な行政サービスを続けていくために、時代に合った工夫やさまざまな改善などに取り組み、持続可能なおサイフづくりを進めています。

市役所の役割や仕事内容を見直し、より良い仕組みや方法づくりを進めていきます

民間の力を活用することも検討されているんだって。

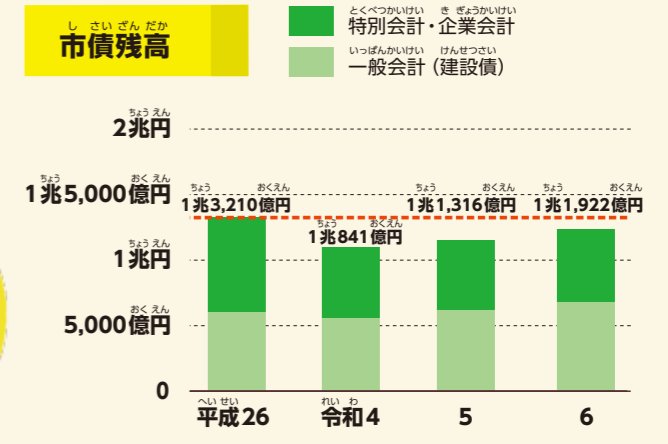
公共施設マネジメントを進めます

9~10ページで詳しいことがわかったね。

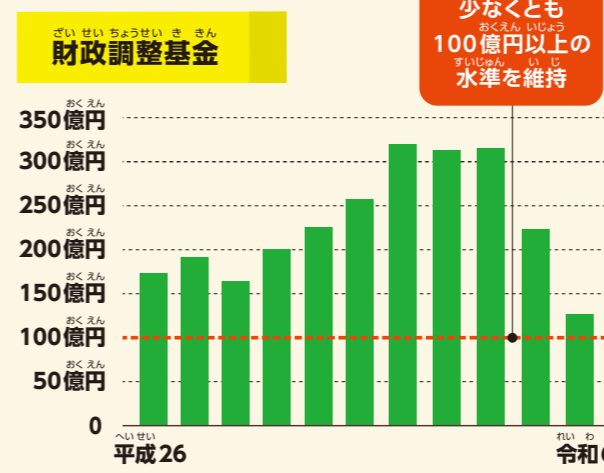
3 将来世代に過度な負担を残さない健全なおサイフへ

子どもたちが大人になった時に負担が大きくなりすぎないように、おサイフの中身をコントロールします。

将来的に人口が減っても市債残高が大きくなりすぎないように平成26年度末の水準を上回らないよう、適切に管理します



将来を見据えた計画のもと、さっぽろのおサイフはしっかりやりくりされているんだね。



市の貯金である財政調整基金が減りすぎないように、収入と支出のバランスを調整します

大雪や災害の時のために市の貯金を100億円より減らさないようにしているんだって。